

2020年9月9日

公示

2020年FIMアジアロードレース選手権の渡航規制の影響による中止について

2020年FIMアジアロードレース選手権は中止となりました。日に日に強化される国境規制及び検疫手順により、多くのインターナショナルライダーが開催国に渡航できない状態となっています。FIMアジア、チーム・ライダー、トゥーホイール・モーターレーシングは協議の上、2020年シーズンの中止を決定いたしました。

シリーズの中止は、25年に亘る選手権において初めてのこととなります。しかし、現状の世界的健康危機の状況は国を跨ぐ渡航に関して引き続き大きな悩みの種となっています。

ロン・ホッグ氏 (TWMR 代表)

2020年選手権を確立するために非常に多くの努力を重ねてまいりました。しかし、非常に残念ではありますが各国の渡航者受け入れ規制等、2020年シーズンのキャンセルを選択せざるを得なくなりした。

シーズンを継続できない以上、今年の選手権ポイントは無効となり、今年はチャンピオンを確定できないこととなりました。

アジアロードレースのファンの皆様には申し訳ありませんが、新たなシーズンの開幕をお待ちください。関係各位、スポンサー並びに開催サーキットパートナーにもお詫びいたします。皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。2021年シーズンの計画を今後進めてまいります。

ステファン・キャラピエ氏 (FIM アジア会長)

2020年FIMアジアロードレース選手権のキャンセルは本当に残念であります。しかし、各国における健康上の安全を維持する為の施策、検疫に関する法律は遵守しなければなりません。この困難な状況におけるプロモーターTWMRの努力に感謝いたします。2021年に復活することを待ち望んでおります。最後に、皆様の安全をお祈りいたします。